先づ通商破壞戦

形勢決つてから主力艦戦

・米戦はいる。紫電

獨の態度中心に

も同時に迫撃砲を有する敵有力部籐が夜襲し來つたが、わが 山た、又一方橫嶺覷(絳縣東方十五キロ)大峪溝(間喜東南)及、奧村、有富等の各精策は直ちにこれを邀撃し、梅寒の晋南地區に

日后盤】イタリー東京

政局の進展報告か

陳介、舊臘重慶に向ふ

極寒の晋南地區に

初の大殱滅戦展開

小癪にも正月攻勢企圖

側自由以下文武百里の明神域には各里

伊基地に移駐

地中海作戰に協力

母は悪の歌かきならふ うち寄する潮の永久のとゝろき」の出邦みて海人かなしき磯岩に

今後の活躍期待

刊綾石黑修著品 の體質 のの 工將 藝來

では、 で破ぎたい人はむしろ一般人の個であり、中原生女単さんに恋友な。日本もも う当門家だけが科型者風を吹かし てよい時代ではなく、一度の飯の 切く一般人に親しきれればなられ 様になった。(著者序文の一節) 一國八十錢 玉玉豆 電新 裝 判 三 九 〇 頁 宽 價二國丁二十二錢 衆 傾 芹 漽 銈 介 製 輯 介

ですよか見えるというなが見るというない。

工學博士富家清客

れませんの質問は

本リ 草用 頂ハ刊朝日本

貨物船の對英貨與

日の出待つらん望みあふれてお謝の寄する巖に海人の子か

融漁村の曙

中河幹

子

双手を擧げ賛意

新行大男童命を押留してB 外の。 の、京城日駅計

アメリカ官邊示唆

変を子も歸り來て正月の 書きならひつ」思ふことなし 正月の一日ともりて聖のうた

遠くけふらひ新春味るらしおく痛はあした白きを日の光

春おく霜のしろき朝朝とを庭へに水仙の花は香れとも

美しや自姓の新春ともらへり をさくとで、の仕模はと、のへて 子をはそたてむ一つ心にこともちはみ臓のたから世の形は

興農會に絕讚 の解

半島農界に大光明

伊皇后に祝詞

逞しき生擴驀進の意圖

勝市1日ペルタンを出意気帯 のドイタの感度を中心に政職の道に関し和年道卓上表したそも家へ信により蔣敬徳脈脈大便映だ、大便は祖郷諸勇旻三國族初縣郡建 優捌されるが、映だはさきに邦連さり、1日同盟コ一日のDN 「重鄭に即つたことが報明した、陳、殿等につき紹和上書を行ふるのとよりン1日同盟コ一日のDN 「重鄭に即つたことが報明した、陳、殿等につき紹和上書を行ふるのと

戦の日本生来の輸入に対し

輪型陣で來るか

送る

集筆隨

法學博士 織田 邁著

本川賞受賞以來益々維勁な無 本以て書いた長篇小説である。著者はこの「美しき個 を以て書いた長篇小説である。著者はこの「美しき個 への要特神が表に、線を美し で結婚させる事は母の悲 しき利己であらうか。た しき利己であらうか。た 四六判三七〇頁上製

Ш 義秀著

定價一。八〇十二十二甲 裝幀 青山二郎

選択 十八 綾 選び 著者自書 選び 著者自書 で優一圏七十銭

醫學博士 吳

建著

は、平時には開始が行はれ始年に は、平時には開始が行はれ始年に は、平時には開始が行ばれ始年に は、平時には開始が行ばれ始年に 八口の停頓 とぶもこと る以上、明曜

生活文化人口

一、輔導部の任務

ب المحسمان وي المدينة المدينة

本

管工業所

作年力子自ヒトラー線派は、日本の全土 い馬が覆っ 本年とそは日本民族を第の年と云子年の御爺を戻する附籍である」 もあつて、太古日承男李され古 はわばならない 明・行けば今年の中に挟せられる 歐洲戦局の展望 英、類勢挽回の皮算用 失敗せんか、日本は又者の晒上するもので、もしこの外がにし

は精である。而して

職分を盡せ 及川 邦治

柴田

磯永洋服店

心學 7 + N · 大 工 業 所 南タ 城商 血會

社長 為 数 數 極 藤 鬼話水笠編二七番 太

咖店 評の頭痛薬

標響林

整工

南林 京城事



六皇合威 治き K 老

茂

南京城縣市 ウララ理容院

避れたりとはいく半点の科学 題とと随いと問いる

劉君星製材所

取扱人組入

る

壽ぎ奉

売川長太郎合名會 趾ノーシン製造産変元

半島の総力體制

[2]

近衛首相試筆

總立總勢の顯式へ

神 長部 美州

緊迫し来って思るので

元

庄野仁川支店

賀正

朝日、職造北會社

學砂村正

夫

平東

豐洋

專賣局蛛出張所

京城電 坂坂本

場城南部 京畿道仁川 水登浦木型所 商商

和藥局 電影 薬 房

永和鐵工所



全班、精魂の字掘り

燦たる皇民の誓詞塔

半島人だけ十六軒

二ケ年で一戸の貯金が三千圓

新義州愛國班の異彩





職

同

精

西正式爾爾會

雅夫和比

白鷺

刀.

重

天總構

古

實施

來

集

之

助

早害を蹴飛ばして

稔る備荒貯蓄

見よ!部落民の團結

井市

田

F

秋

大同縣

鹽會 祀

仁井田德寶

肩炎、耳鳴等疲勞 倦 怠 感活 力 减 退

郎市

舒川水利組合

寄年期、壯年期の

食

45

忠男

仲

并

惣

吉

郎

管

昨

江

重

元

忠

文

氼

男

舒川產業組台

富山

田粤

秀

雄

图 三 O 第 1 OO的

三型

良二千石も膝つき合はせて お茶飲み乍ら中合せ

酒 井 經 新川水利 組 合 長 新川水利 組 合 長

作株 忠

項水 機械製 產 株 式 大 會 會 社 泚

會 計 境 ンモル水活賦性男新最

只城尚事機工 整

原 城 府 古市 即 五七 番地

忠

長

項

項

繁

優米

光 那

方音 本。

長哨島 部 出 慶 張 太

長物産株 北 棉業株式會社繰棉工場 項實 所

*.

原

弘 粉製九睾鲸

本本

竹

板

支

所

長

兼平虎一

北川 林材

以項出張所

統

京城料理屋組合

業

井廳 照

貯 商 殖 蓄 業 産 行行行仁會 支支支支 店店店店

見所

寅 市 (86)

松作



文部省、東京高師、同女高師の文部省、東京高師、同女高師の文部省、東京高師、同女高師の出版の本書の大臣都振娱の教育掛高に立て思ります。 たの教育外掛高い してある掛高が表してある掛高が表してある場合になって居ります。 たんび で 数百萬枚の掛局が毎日の授業の本役に立つて居ります。 引換客癖されることになつてます 潮洲國に放ても昨年來民生部編 藩川國に放ても昨年來民生部編 場圖」を刊行し、職及小學校で使 用中です。

文化映畵の製作

全日本韓顯選獎會

カかもと本舗では、優れた映寫 電温と協力して、面白くて有釜な 映画大を顕各地の學校や諸 電温と協力して、面白くて有釜な 映画大学を関各地の學校や諸 では、他によった。 東部 では、一になる。 東部 では、一になる。 ではなる。 でなる。 でなな。 でなな。 でなる。 でなる。 でなる。 でなな。 でなる。 でなな。 でなな。 巡回映畵班の派遣 監修の下にわかもと本舗が毎月製産の下にわかもと本舗が毎月製産の下におからと本舗が毎月製産

作し、全國の映漆館で上映されてるます。仅数本は海洲國皇帝陛下台ます。又数本は海洲國皇帝陛下台

文化と社會に奉仕する

わかをと本舗の事業 完小 質學 力測 定

学教育掛圖の寄贈

新世紀初頭から

産業戦上を訓練



松風號歸る

見込まれた羅津

義は明快、小學卒業で理解

春の覺悟、今年と英語征服

新版新年新學期開講

朝鮮美術品所旗部

師は我が現代英學大家揃ひ

野田英世士雄の一大派兵の一野田英世士雄の一大の一大派兵の一大派兵の一大派兵



翻續肠坂部隊版







內利一般特一時吸激心非質量

クロダ歯科

正月の参舞

モンペを基調に立案

場所 三中井四、五階催場期日 昭和十六年一月七日より十

後主 援催

在城各新聞社國民總力朝鮮聯盟

京城中心に大型機就航

トを強化

日営業時間午月五時でデ

電大学の意味である。 | 1 日本 | 1 日本

佐田 大郎 本 株 本 大田 本 大田 本 大田 王郎 大田 本 大田 王郎 女 灯 王郎 TT/又ケッキ★馬券と角カマッキー は、大学の は 婚 が かん は 婚 の 結 婚 の 結 婚 の 結 婚

ざん息神経痛や悪な 新療 注 發表 はあれ、れた趣味が無んで強いる人はあれ、れた趣味が無んで強いませい。 大型自身参考が悪いませい 一四五 今、世代が父別、四世なくはくか、四カは、ガチにない間でした。 10つの数がを見から情報する 70分数がを見から情報する 70分数がを見から情報する。 原料の聲の語と見

ステナあされた石松 勘 進 観

